

国立成育医療研究センターでは下記の研究を実施しております

研究名：我が国の小児救急気道管理に関する多施設前向き観察研究

1．研究の目的

救急外来における緊急気道確保は重要な救命手技の一つです。子どもは大人に比べて体格が小さく脆弱であり、繊細な気道管理が必要です。小児の緊急気道管理の現状を調査することで、お子さん達にとってより良い医療の提供に繋がると考えています。

2．研究の方法

研究対象：当センター救急外来を受診し、緊急気道確保を行なった18歳未満の方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2028年3月31日

研究方法：緊急気道確保を行った処置の診療録と、その後の経過について、下記の<3.研究に用いる情報の種類>に記載されている情報を、東京都立小児総合医療センター(責任者：萩原佑亮)に提供します。東京都立小児総合医療センターでは、情報を収集し解析をします。

3．研究に用いる情報の種類

お子さんの年齢・性別・既往歴・気道管理が必要となった理由と、気道確保の方法や経過についての詳細です(気管挿管の方法・使用した器具/薬剤・処置時の問題点・その後の経過など)。

お子さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究の成果は学会発表や学術論文により公表する予定です。

5．研究実施機関

(HP)

この研究は、東京都立小児総合医療センターが主導となり行われる研究です。
国立成育医療研究センターのほか5つの医療機関が協力して行う多施設共同研究です。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2028年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 救急診療科 大西志麻
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1
電話：03-3416-0181（内線：7271）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 救急診療科 植松悟子